ぎゃらりーわ

NO.92　2021年1月号



●花の村内散歩
ハボタン

編集・発行　NPO法人グループわ（大槻隆文）　ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ　http://www.wa-net.jp/group-wa
〒651-1106　神戸市北区しあわせの村1番16号 神戸市シルバーカレッジ内　TEL078-743-8101　FAX743-3830

ビバ！ハロウィン　こうべっこひろば

新型コロナウィルス感染予防対策を行い安全に配慮して実施



パプリカダンス～！



割りばしてっぽう



バルーンアート



人形劇　さんびきのこぶた



工作によるおもちゃ遊び



マジック教室

10月25日（日）しあわせの村　芝生広場で小学生までを対象とした、ビバ！ハロウィン　こうべっこひろばのイベントを開催しました。新型コロナウィルス感染予防対策を十分に行い、安全に配慮して実施しました。

イベントの中止が続く中、子ども930人、保護者920人と多くの方に来場いただきました。当日は、秋晴れで天気に恵まれ、スタッフ160人ともども、多数の家族連れで楽しんでいただきました。（担当　広報　八木　清）

ボランティアの
輪をひろげよう

特集　財政再建プロジェクト報告　2面

92号の内容

ビバ！ハロウィンこうべっこひろば　表紙
グラウンドゴルフ大会　3面
野鳥観察会　3面
学習支援活動　4面
部会活動レポート　神戸ぴかぴか隊　5面
部会活動レポート　ケナフの会20周年　5面
区会活動レポート　フレイルチェック会　6面
カレッジだより　7面
わ だより　7面
ｐｈｏｔｏニュース　8面

特集　財政再建プロジェクト報告

12月8日理事会に報告書提出

財政危機を契機に 新たな活動推進をめざす

グループわ は、令和元年度に主要な受託業務契約が終了したことにより活動資金が大幅に縮小し、令和2年度は赤字予算となりました。また、コロナウィルス感染防止のため多くのボランティア活動は休止中です。このような中で、グループわ はいかに財政再建を果たすのか、今後の活動をどうすれば良いのか、当プロジェクトチームは検討をすすめてきました。

その検討結果を報告します。理事会、各区会・部会役員、グループ役員、会員のみなさまの力を合わせて、この困難な時期を乗り越え、グループわ の新たな活動の推進を目指したいと考えます。

報告書の骨子

1. 財政再建の方策

（1）令和2年度単年度赤字財政からの脱却を目指しますが、その主要な方法は以下の2項目と考えます。

①新たな公益団体運営支援事業契約の獲得による収益増

②活動推進に無理のない費用削減

（2）新たな公益団体運営支援事業の獲得を目指すに当たっては過大な業務負担を避け、年度で2事業程度に絞り込む必要があると考えます。今期中にめどが立たない場合は、蓄積してきた正味財産の活用も視野に入れざるを得ないと考えます。

2. 財政難の下で、グループわ の「目的」「活動」「組織」「将来目標」等の基本的な課題が焦点化していると考えます。具体的には次のような項目です。組織と活動の発展のために、ぜひ検討を進めていく必要があると考えます。

①目的や活動内容を規定する定款の見直し

②区部会組織や活動のあり方

③グループによるボランティア活動と会員個人のボランティア活動推進

④理事体制を中心としたグループわ 本部のあり方と組織運営効率化等

3. 課題解決に向けた取組推進

取り組むべき課題は、当面の緊急課題から将来に向けた中長期課題までさまざまです。グループわ の決議・執行機関である理事会において、早急に取組課題とスケジュール、担当のあり方等を整理し、取組み開始されることを期待します。

・令和2年度下期　～R3.3.31.
　新規受託事業や経費削減の取組
　令和2年度決算　財政状況の把握、予算立案
・令和3年度上期　R3.4.1.～
　中長期課題を含めたアクション・プラン策定
・第18回定期総会 R3.5.下旬
　方針確認、取組みスタート

（報告書全文、添付資料はＨＰ参照）

12月8日理事会で今後の進め方確認

12月22日運営委員会に報告



説明する大槻理事長

財政再建プロジェクト報告書は大槻理事長に提出され、わ本部の決議・執行機関である理事会(12/8)で具体化検討を進めることが確認されました。

2月の理事会で課題整理と進め方を確定し、直ちに取り組むべきことは今期中に取り組み、中期的課題は次回定期総会に方針提案することになります。

12/22運営委員会

運営委員会では報告書概要が報告され、意見交換がおこなわれました。「区会役員会等での報告と話し合いがスムーズにおこなえるように情報提供してほしい」「定款の目的条項には高度な知識技能が謳われ、現実と乖離している印象がある」等の意見が出されました。活発な組織内論議を進めましょう！

プロジェクト・メンバー

加藤勇治(美10)、芦田義和(生15)、竹田友子(音19)、豊野文子(生20)、岩波義孝(生21)、岸野清美(健21)、冨川 修(生22)、南 謙二(健22)、高木博史(園23)、道満出人(国23)、桜間　茂(生24)、事務局：浜田哲夫(生21)、横山謙一(音24)
オブザーバー：大槻隆文理事長(食20)、川部忠夫監事（健20)

検討経過概要

R2.8.25.　第1回ミーティング
R2.9.15.　運営委員会.財政再建に関する提言のお願い（10通受領)
R2.9.15.　第2回ミーティング
R2.10.20.第3回ミーティング
R2.11.20.第4回(最終)ミーティング

グラウンドゴルフ大会

11月1日（日）秋晴れの下、しあわせの村運動広場で、会員親睦グラウンドゴルフ大会が開催されました。13組39人の会員が、8ホール2ラウンドの個人戦で、熱戦を繰り広げました。

日時　：１１月1日（日）
場所　：しあわせの村運動広場

とまり賞（ホールインワン）も4人が達成し、優勝、準優勝、第3位、とび賞、ＢＢ賞、とまり賞の表彰式をもって、会員親睦大会の終了となりました。優勝者は、北区の仲多賀夫さんで39打でした。おめでと





野鳥観察会

当日は、多数参加いただき、秋晴れで紅葉の中、心地よい、一日でした。探鳥会の締めくくりとして、鳥合わせをした結果、見ることができた鳥が16種、声を聴けた鳥が3種でした。季節柄　夏鳥は帰っています。冬鳥はまだあまり来ていません。また、日曜日で人出が多く、少々鳥たちが少なかったようです。

◆観察場所　しあわせの村　キャンプ場周辺
◆時　　間　10：00～12：00
◆参加者　17名　スタッフ　6名　　計　23名





（本ページ編集・道満）

須磨一ノ谷プラザ貸室

グループの会合･研修､楽器練習､お手軽価格でご利用できます!

部屋：和室、会議室、ホール等各種
電話予約OK！078-731-8353
ご利用時間：9時～17時　月曜定休日
場所：神戸市須磨区一ノ谷5丁目2番1号
（神戸市バス　須磨一の谷バス停）



パソコン何でもお好み塾

マンツーマン指導です！
ゆっくり何度でも質問Ok



場　所：新長田ふたば学舎　有料駐車場あり
開催日：毎週金曜日　9:30-11:30
受講料：1,500円／日
パソコン：持参または無料貸与
お申込み：グループわ本部078-743-8101

学習支援活動

特別支援研修会

学習支援(特別支援学級）のボランティア募集に興味がある皆様に向け、子供たちを支え、笑顔にする「笑顔の花咲く特別支援教育」をテーマに研修会を行いました。当日は、学習室が、ほぼ満席となる約６０名の方々に参加いただき大盛況でした。

日時：2020年10月16日　13：00～14：30
場所：神戸市シルバーカレッジ　学習室1･2
内容：1.「教育委員会の様子」について
　　神戸市シルバーカレッジ　後藤事務局長
　　2.「笑顔の花咲く特別支援教育」について
　　神戸市教育委員会　特別支援教育課
　　学校支援担当係長　水金　稔　先生


神戸市シルバーカレッジ　後藤事務局長


神戸市教育委員会　水金　稔　先生

水金先生は、「『困った子』ではなく『困っている子』と見方を変えてほしい」「しかるのではなく親切にする。気になる行動の要因・背景を考えてほしい。また、褒められたい、認められたい、愛されたいという欲求を満たしてあげてほしい」というお話しをされました。

特別支援教育とは、「うまくいかないことがある子どもの価値を高める教育」で、現在、小中学校に通常学級とは別に設けられ、一人一人のしょうがいや個性に配慮した少人数教育を実践しています。

本研修会は、2020/11/14 神戸新聞に掲載されました。

子どもたちとのかかわりかた

・しょうがい名（ADHD,LD,発達しょうがい）だけで子どもを判断しない。
・子どもの気持ちに共感し、受け止める。
・見方を変えて短所を長所に（落ち着きがない子⇒「元気」、あわてもの⇒行動が早い、）
・自分のことを分かってくれる大人の言うことはよく聞く。
・ほめ方、しかり方は「短く太く」。
　行動を叱る。子どもの意欲まで否定しない。
・世界中笑顔は共通する。（先手必笑）

研修会後、支援要請のある小学校と出席者とのマッチングを行い、支援する学校を調整しました。
また、長田区会では、「長田南小学校」の特別支援活動を10/22よりスタートしました。

ボランティア募集

小学校で、子どもたちが 私たちの 支援 を求めています。 週 1 回でも結構です。あなたの空いている時間を貸して もらえ ませんか？！

今、小学校で は 、 先生以外に 子 ども たちの 学習の 手助け をす る ボランティアが必要なのですが、大きく不足しています。

グループわ では、この 度 学習支援ボランティアを募り、 従来以上に活動充実を進めたいと考えています。教員の 経験 や 資格 の有無 は問いません 。できるかな？ ハードルが高い なと感じる方もいらっしゃると思いますが、子 ども の好きな方なら大丈夫。研修会（1回/年程度）もあります。 また、支援者の集いも年 2 回開いて互いに話し合う場も設けています。



多くの方のご登録をお願いします。
お問い合わせも ご遠慮なく、
お待ちしています。

【問い合わせ・登録窓口】
グループわ 本部事務所：
毎週月曜から金曜（祝日を除く）　9：30~ 16：30
学習支援担当 岸野清美
TEL.078-743-8101　FAX.078-743-3830

神戸ぴかぴか隊11月臨時例会

神戸ぴかぴか隊　今年はじめてのボランティア参加
KOBE　ALIVE　2020　～神戸新舞～　11月22日（日）
神戸ぴかぴか隊　代表　　溝田　恒廣（生環23期）

KOBE ALIVEは今年で13年目の開催となる「よさこいコンテスト」の祭典です。

今年は新型コロナの影響で開催が危ぶまれましたが、「こんな時だからこそ、あきらめない！」をスローガンに今年もメリケンパークで開催されました。

神戸ぴかぴか隊は、今年は神戸市のイベントがほとんど中止となり、今年最初のボランティアとなりました。

例年はよさこい踊りに45チームも参加するイベントですが、今年はコロナの感染拡大対策を徹底するため、参加チームを17チームに制限し、ダンス、コスプレ、高橋洋子、フィンガー５のアキラなどが出演した動画をライブ配信するなどの新しい催しの形態での開催となりました。



神戸ぴかぴか隊からはコロナ感染が懸念される中、勇気ある33名が参加、マスク、ビニール手袋、フェイスシールドを着用し、入場者へのマスク着用、消毒のお願い、検温測定などの活動を3班に分かれ、9時30分から17時までお手伝いしました。

コロナ禍で開催されたこともあり、選ばれた踊り子や出演したシンガーが熱気にあふれたパーフォーマンスを披露し、「神戸から元気を届けよう」との思いが伝わったイベントでした。



★よさこい踊りの写真：京都よさこい連　心粋　You Tubeから抜粋

ケナフの会20周年

「ケナフの会」は創立20周年を迎えました
代表　森山俊邦（生環19期）

「ケナフの会」は、各方面の皆様から長年に渡りご指導・ご支援・ご協力を戴き、創立20周年を迎えることができました。

新型コロナ感染拡大で延期しておりました記念集会を11月16日に開催し、記念誌「20年の歩み」を発行致しました。



弊会はケナフを育てることによって地球温暖化防止に貢献してきました。そして、ケナフを活用した紙漉き教室や炭焼き・染物作りを通じて、環境を守ることの大切さを楽しく学んで頂く活動を続けて参りました。



今後は、コロナの感染拡大対策を取りながら楽しく仲良く活動を続け、市民や児童の皆様のために益々励んで参る所存であります。

宜しくお願い申し上げます。



フレイルチェック会

11月から各区での市民サポーターによるフレイルチェック会が開催され、区会の会員が参加しました。神戸市の指導のもと、感染防止策を十分にとるため、参加者を10人程度に絞り、またサポーターも原則6人体制と、少人数でチェック会を運営するという新しい試みとなりました。

1.チェック会　スケジュール

区会	実施日	実施場所
西区	R2/11/20	看護大学
兵庫区	R2/11/27	兵庫区役所ホール
東灘区	R2/12/7	東灘区民センター
北区	R2/12/16	しあわせの村たんぽぽ
垂水区	延期	緊急事態宣言のため
須磨区	延期	緊急事態宣言のため
中央区	R3/3/6	三宮勤労会館 308会議室
灘区	R3/3/24	灘区文化センター大会議室

2.11月12月に参加した方々からの感想

(1) 西区会　大串　修さん　（78歳）

フレイルチェック会に参加していろいろと勉強になり、また、知らないことが多く、怖いこともあると思いました。質問が細かく理解しにくいときには、少し厳しめに答えたようです。筋肉量が大事であることは当然ですが、測定の結果は大丈夫でした。社会参加はまあまあしていると思います。体はよく動かしているつもりでしたが、運動の質問に赤シールが付いたので、自分が考えているよりは動かせていないようです。左膝が悪いのも影響しているでしょう。生活の中でもう少し運動の強度と量を上げていくのが私のフレイル予防の課題ですね。

(2) 兵庫区会　宮城智子さん（90歳）



1930年生まれ、小学生時代虚弱体質でしたが、学徒動員や神戸大空襲にあった女学校のころから元気になりました。結婚して、夫の家族と同居。嫁として、母として、さらに幼稚園の教師などの仕事をもし、舅姑の介護もしました。66歳でKSC入学、合唱団コーロを立ち上げ、卒業と同時に震災、ボランティア活動に参加。グループわ 誕生の時からの会員です。今年の3月1日から毎朝かかさず40分ほど亡夫の形見の杖とともにウォーキングをしています。昭和13年の水害の犠牲者の慰霊碑で手を合わせて帰ってきます。背筋を伸ばして歩くことを心がけています。

フレイルチェックでは、ふくらはぎと片足立ちの項目に赤シール。昔から体が細いから仕方ないかな？ 物事をさっとできなくなったりした時には、フレイルが始まっていると考え、フレイルとさよならできるように、体をほぐし、血流をよくし、食物はよく噛んで食べ、歩くときは背筋を伸ばして、颯爽と歩きたいものだと思いました。

(3) 東灘区会の方々から

・フレイルチェック会は継続してほしい。多くの方に参加の機会を設けてほしい。区会の活動にフレイルの兆候を少しでも早く発見することをテーマにしていけばよいと思う。“わ”との各区会との共通の活動テーマができる。

・フレイルチェックに参加できてよかったです、ぜひ定期的なチェックが受けれるようにお願いしたい。

・健康寿命（健康長寿）を目指すことが命題ですがその3つの心得の中の「社会参加」と「コロナ対策」とが課題。

・現状の体力を確認し、今後の強化ポイントを理解できた。

・社会参加の機会を維持させることが課題。

・高齢者の日常生活をサポートできる機会作りが必要。

・健康寿命を延ばすための3つの課題の1つ、社会参加について地域での今よりもさらなる積極的な場作りが必要と思います。それと体力測定では、バランス（ふらつき）チェック、転ばないチェックが必要かと思います。

・チェックの結果から、どのような力をつけたらよいか（サルコペニア対策）も合わせて教えてもらえるといいのですが。





(4) 北区会　木村成男さん（82歳）

市民サポーターの皆さんの運営は素晴らしかったです。会の流れは(簡易チェック)食事･運動･社会性⇒(深堀りチエック)体力測定(手足の筋肉量など)の測定⇒結果及び説明とアドバイスでした。

北区の参加者の平均年齢は79歳でした。私自身はまだ若いと思っていましたが、会で配布されたハンドブック等を見ますと「加齢に伴い、体重の減少、疲れやすさ、歩く速さや筋力の低下でこのままでは要介護状態になる可能性が高い状態」をフレイルと言うとのことでした。知らないというのは怖いと思いました。これから、フレイルにならないように、ハード面では筋肉が衰えないように、食事のとり方に気を付け、ソフト面では、ボランティア･趣味の写真撮影(歩行)・園芸等今以上に頑張り、機会が有れば再度フレイルチェック会に挑戦して見たいと思います。







KSC令和３年度学生募集



神戸市内に住所を有する57歳以上の方（昭和39年4月1日以前に生まれた方)で通学可能な方。学歴、経歴は問いませんが、地域活動、ボランティア活動に理解と熱意を持つ方。

カレッジを卒業または退学された方（除籍を除く）も出願可能です。

☆入学金・コース・定員・受講料等

1)入学金6,000円

2)定員、受講料

コース	定員（受講料）
健康ライフコース（予定） 国際交流・協力コース 生活環境コース	各100名 （年額70,000円）
総合芸術コース （美術･工芸専攻、音楽文化専攻、園芸専攻、食文化専攻）	各35名 （年額77,000円）

3)出願期間

令和3年1月18日（月曜）～1月29日（金曜）

25期グループ学習発表会

令和2年度のグループ学習発表会は、3月8日の国際交流・協力コースをスタートとして、3月17日まで行われます。

☆各コースの発表日は次の通りです。

- ●健康福祉コース（3月 11日）
- ●国際交流・協力コース（3月8日）
- ●生活環境コース（ 3月12日）
- ●総合芸術コース
  - ・美術・工芸専攻 （3月16日）
  - ・音楽文化専攻（ 3月10日）
  - ・園芸専攻（ 3月17日）
  - ・食文化専攻（3月15日）

災害支援募金の贈呈

会員の皆様より、ご支援いただきました、「令和元年台風15号、19号災害支援募金」及び過去の義援金を含め寄贈し、神戸市社会福祉協議会様より、感謝状を授与して頂きました。なお、義援金は神戸市社会福祉協議会様より被災地に送っていただきます。



感謝状贈呈式

日時　2020年12月4日

場所　こうべ市民福祉交流センター

贈呈者　神戸市社会福祉協議会　小村専務理事

受贈者　大槻理事長

寄付内容

募金名（寄付先）	寄付額
熊本地震支援募金　（熊本県）	59,080
西日本豪雨災害支援募金（日本赤十字）	310,860
北海道地震支援募金　（厚真町）	3,000
台風15・19号支援募金　（日本赤十字）	375,488
合　計	748,428

今回の寄付は、「台風15・19号支援募金」が主体ですが、　過去の募集締め切り後にいただいた募金や、支援活動後の余剰金を、神戸市社会福祉協議会様にて、寄付先別に仕分けをして頂き寄付していただきます。

感謝

なお、感謝状はグループわ 事務所に掲載しています。

会員の皆様、ご支援いただきありがとうございました。

photo ニュース

ビバ！ハロウィン　こうべっこひろば　10月25日



ファッションショー


手作りマント



銭太鼓


あやとり

ケナフの会20周年　11月16日

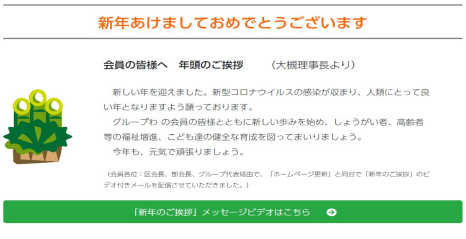

児童館ケナフ紙漉き教室

神戸ぴかぴか隊　11月22日


受付での検温

新しいホームページを見てください!!









GoogleやYahoo!の検索画面で「グループわ」と入力　➡　グループわ の見出しをクリック　➡　上のＨＰが開きます！

スマホ、タブレットはQRコードから